

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成21年 4月

(平成21年 3月末調査)

平成21年4月14日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【2月】	諏訪公共職業安定所管内	0.59倍	△0.72ポイント	
手形交換高【3月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	11,598枚	+967枚	
	金 額	15,212百万円	+1,842百万円	
	うち不渡り	枚 数	9枚	+7枚
	発生状況	金 額	8,148千円	+7,548千円
電力使用量【3月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	64,870 MWh	△12.0%	
	高压電力計	91,776 MWh	△20.5%	
	合 計	156,646 MWh	△17.2%	
車庫証明取扱件数【3月】(諏訪地方合計)		1,571件	△15.5%	
新設住宅着工件数【20年4月～21年2月】(諏訪管内)		1,359戸	△6.3%	

□本文は、当金庫取引先の約120社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

●製造業

自動車関連の下請企業の受注は、ハイブリット車向けで幾分動きがみられるが総体では低調に推移している。工作機械・専用機は、自動車向けやその他の産業用機械向けともに受注は大幅に減少している。デジタルカメラ関連企業の受注は、親会社により区々であるが総体では前年同月比で大幅な減少となっている。電気機械、金属加工などの業種の受注も大きく減少している。ダイカスト関連では、自動車部品は減少しているもののガス器具向けは堅調な推移となっている。

大手の自動車や電機関連のメーカーはある程度適正な在庫水準に戻りつつあるも、地域製造業の受注状況は前年同月比では大幅に悪化している。ただし、3月に入りここ数ヶ月間の前月比割れの状況から転換し前月並みを維持したとする企業も多く、このあたりで底を打つのではないかとの見方をする企業も出始めた。

●商業

諏訪地方の3月の天候は、寒暖の差が大きくなったものの気温の高い日が多かった。衣料は、スーツ等の新入学関連商材の売上点数は平年並みであるものの商品単価の値下がりがきかれ、一般の春物衣料の動きは男性衣料を中心に低調であった。また、これまで比較的堅調であった食料品もセール日の来客数や目玉商品の売れ行きだけは良いものの、購入点数の落ち込みから前年の売上高を下回る店舗も多い。

自動車関連では、ETC機器の取り付け台数が急増した店舗がきかれるものの、車庫証明件数(軽自動車除く)は1,571台で前年同月比△289台(△15.5%)の減少と売れ行きは低調に推移している。

●観光業

今シーズンのスキー場の売上高は、暖冬の影響により前年比 $\Delta 10\sim\Delta 20\%$ 程度減少したものの、蓼科・白樺湖・車山方面への3月下旬の入込み状況は「ETC 休日割引」の効果から観光客の出足が例年より早いとの声がきかれる。

諏訪大社の参拝客数(上社・下社合計)は約30千人と前年同月比では $\Delta 17$ 千人($\Delta 36.6\%$)減少するなど、諏訪地域への団体客の減少から各ホテル旅館の宿泊客数も前年同月比では減少しているところが多い。

また、法人需要の減退から会食や宴会数が減少しており、あわせて地域企業への出張者の減少からビジネスホテルの宿泊客数の減少も続いている。

●建設業

市町村の3月の発注工事は、建築工事7件175百万円、土木工事・下水道工事37件201百万円、その他工事13件35百万円の合計57件412百万円で、前年同月比では+43件、+280百万円の増加となった。県関係の3月の公共工事(地元業者受注分)は15件636百万円で、平成20年4月～平成21年3月の累計契約は235件6,514百万円で前年同期累計比では+14件、 $\Delta 986$ 百万円($\Delta 13.1\%$)の減少となった。長野県の緊急経済対策による平成21年度工事の前倒し発注により、受注件数は前年度を上回り受注金額の前年同期累計比は1月の66.6%から3月には86.9%にまで上昇した。

民間工事は、諏訪地方の2月の新設住宅着工件数は70戸で前年同月比では $\Delta 18$ 戸($\Delta 20.5\%$)の減少となった。

景況の悪化から、企業の設備投資の延期や取り止め、個人住宅でも慎重な姿勢がきかれる。

●雇用

諏訪地域の2月の有効求人倍率は、前年同月を $\Delta 0.72$ ポイント下回り0.59倍と対前年比で17ヶ月連続して低下している。また、長野県と同倍率は0.51倍で全国平均の0.59倍を前月に引き続き下回った。なお、諏訪管内は統計が残る平成14年4月、長野県全体では統計が残る昭和38年1月以来の最低数値となった。

諏訪地域の2月の新規求人(全数)は857人で前年同月比 $\Delta 533$ 人($\Delta 38.3\%$)の減少、新規求職者数は1,431人で前年同月比+739人(+106.8%)の増加となっている。新規求人数は、地域の主力産業である製造業全体で63名と対前年同月比 $\Delta 315$ 人($\Delta 83.3\%$)と大幅な減少となっている。

また、1件10人以上の人員整理は4件82人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は549人と前年同月より516人増加している。なお、製造業においてゴールデンウィークに合わせた長期休業による生産調整を行う企業がみられる。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	自動車、デジタル家電向けともに受注は大幅に減少している。
コンデンサー	受注は減少している。
プリンター	下請企業の受注は引き続き大幅に減少している。
コンダクター・リレー	受注は堅調に推移している。

2. 輸送用機械

自動車	ハイブリット車向けの受注に動きがみられるが、総体では低調に推移している。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の受注は前年同月比では大幅に減少しているものの、前月比では横這いの状況となっている。
船外機	欧米・新興国ともに需要は減少しており生産は減少している。

3. 一般機械

工作機械・専用機	自動車やその他の産業用機械向けともに受注は大幅に減少している。
搬送用機械	製造業向けの受注が減少している。
金型	総体の動きは低調である。
ダイカスト	ガス器具は堅調な推移であるが、自動車向けの減少は続いている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの2月の生産台数は510万台で前月比+37.8%増加、前年同月比△28.8%減少となっている。2月の出荷台数は国内出荷87万台、海外出荷446万台で、出荷台数全体では前月比+36.7%増加、前年同月比△22.7%減少となっている。 地域企業の受注は親会社により区々であるが、前年同月比では大幅な減少となっている。
プロジェクター	メーカーの売れ行きは官庁や教育機関向けが堅調であるが、海外生産が主となっており国内での部品加工は減少している。
レンズ	親会社の生産計画の見直し等により受注は減少している。

5. 織 維

ニット

店頭での動きが弱含んでいるため、受注が短納期・小ロットとなっており対応に苦慮しているとの声がきかれる。

6. 食 品

寒天

荷動きはスーパー向け、業務用向けともに増加した。

味噌

業務用需要は減少傾向も、内食志向から家庭用需要は堅調である。

7. 製 材

諏訪地方の2月の木造住宅着工件数は56戸で、前年同月に比べ+12戸増加したものの、木材の動きは基調としては低調である。

8. 建 設

公共工事

3月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所10件、農地整備課4件、その他1件の合計15件、契約金額636百万円となっている。平成20年4月～平成21年3月の累計契約は235件6,514百万円で前年同期累計比では+14件、△986百万円(△13.1%)の減少となった。長野県の緊急経済対策による平成21年度工事の前倒し発注により、受注件数は前年度を上回り受注金額の前年同期累計比は1月の66.6%から3月には86.9%にまで上昇した。市町村の3月の発注工事は、建築工事7件175百万円、土木工事・下水道工事37件201百万円、その他工事13件35百万円の合計57件412百万円で、前年同月比では+43件、+280百万円の増加となった。

民間工事

諏訪地方の2月の新設住宅着工件数は70戸で前年同月比では△18戸(△20.5%)の減少となった。利用関係別では、「持家」35戸、「貸家」32戸、「分譲」3戸で、昨年と比べ「持家」が△14戸減少している。景況の悪化から、企業の設備投資の延期や取り止め、個人住宅でも慎重な姿勢がきかれる。

9. 商 業

諏訪地方の3月の天候は、寒暖の差が大きくなったものの気温の高い日が多かった。衣料は、スーツ等の新入学関連商材の売上点数は平年並みであるものの商品単価の値下がりがきかれ、一般の春物衣料の動きは男性衣料を中心に低調であった。また、これまで比較的堅調であった食料品もセール日の来客数や目玉商品の売れ行きだけは良いものの、購入点数の落ち込みから前年の売上高を下回る店舗も多い。

自動車関連では、E T C機器の取り付け台数が急増した店舗がきかれるものの、車庫証明件数（軽自動車除く）は1,571台で前年同月比△289台（△15.5%）の減少となっている。

衣料 景況感の悪化から不急の商品として衣料関連商品の購入意欲が低下しているとの声がきかれ、男性衣料を中心に売れ行きは低調である。

食料品 セール日の来客数や目玉商品の売れ行きは良いものの、総体では購入点数の落ち込みが続いている。肉食志向から惣菜やレトルト食品の売上が伸びている店舗がみられる。

家電製品 ポイント還元等により実質価格の下がった薄型TVは堅調であり、シングル用品も例年並みの動きであった。

自動車 諏訪・岡谷を合わせた3月の車庫証明件数（軽自動車除く）は1,571台で前年同月比△289台（△15.5%）の減少、また平成20年度累計台数は12,288台で前年度比△1,286台（△9.5%）の減少となった。

E T C機器の取り付け台数が急増したとの声がきかれる。

ホームセンター 気温が上がったことから、園芸用品や外回り用品に動きがみられた。

10. 観 光

今シーズンのスキー場の売上高は、暖冬の影響により前年比△10～△20%程度減少したものの、蓼科・白樺湖・車山方面への3月下旬の入込み状況は「E T C 休日割引」の効果から観光客の出足が例年より早いとの声がきかれる。諏訪大社の参拝客数（上社・下社合計）は約30千人と前年同月比では△17千人（△36.6%）減少するなど、諏訪地域への団体客の減少から各ホテル旅館の宿泊客数も前年同月比では減少しているところが多い。

上諏訪温泉 宿泊客数はホテル旅館により区々であるが、団体客の減少から前年比△10～△20%程度の減少となっている。週末の宿泊は堅調であるものの、平日の集客が課題となっている。

蓼科・白樺湖・車山方面 今シーズンのスキー場の売上高は、暖冬の影響により前年比△10～△20%程度減少した模様。「E T C 休日割引」の効果から観光客の出足が例年より早いとの声がきかれる。

下諏訪温泉 法人や個人グループの宴会の減少がきかれる。

諏訪大社 上社・下社を合わせた参拝客数は約30千人と、団体ツアー客の減少などから前年同月比△17千人（△36.6%）の大幅な減少となった。